

## 5. 今後の取組 主な課題

# 平成28年8月に北海道・東北地方を襲った一連の台風について

○北海道への3つの台風の上陸、東北地方太平洋側からの上陸は、気象庁の統計開始以来初めて。

○北海道の国管理河川において、4河川で堤防が決壊し5河川で氾濫が発生。道管理河川等においても5河川で堤防が決壊し、73河川で氾濫が発生。また、東北地方の県管理河川においては、12水系20河川で浸水被害が発生。

## 被害状況

### 【北海道】

一級水系の支川などの国管理区間において、4河川で堤防が決壊し5河川で氾濫が発生するとともに、道管理河川等においても5河川で堤防が決壊し、73河川で氾濫が発生するなど、死者3名、不明者2名、重軽傷者13名、住家の全壊30棟、半壊・一部損壊1,019棟、床上・床下浸水927棟など甚大な被害が発生した。

### 【東北地方】

東北地方の県管理河川(岩手県、青森県、宮城県)では、12水系20河川で浸水被害が発生し、岩手県では死者20名、不明者3名、重軽傷者4名、住家の全壊472棟、半壊・一部損壊2,359棟、床上・床下浸水1,466棟など甚大な被害が発生した。

## 北海道内における主な被害状況

**石狩川水系:**  
 ・22河川 (台風第9、11号)  
 【浸水面積 370ha 床上浸水1戸 床下浸水16戸】  
**2河川 (台風第10号)**  
 【浸水面積69ha 床上浸水5戸 床下浸水24戸】

**石狩川水系空知川(南富良野市)堤防決壊**  
 ・浸水面積 約130ha、浸水家屋183戸  
 空知川上流(南富良野町)堤防決壊状況



**常呂川水系 堤防決壊**  
 ・浸水面積約118ha、床上・床下浸水12戸

**十勝川水系札内川(帯広市)堤防決壊**  
 ・浸水約50ha  
**十勝川水系茅室川 堤防決壊**  
 ・家屋流出3戸、床上・床下浸水260戸、浸水約441ha

## 台風経路図



## 東北地方の県管理河川の主な被害状況

**久慈川、川又川、長内川(久慈市)**  
 ・越水等により、床上浸水850戸、床下浸水150戸の被害あり



H28. 8. 31撮影  
 浸水した高齢者利用施設の状況(岩手県岩泉町)

**小本川、清水川(岩泉町)**  
 ・溢水・越水・決壊により浸水339ha、床上浸水723戸、床下浸水121戸



## 久慈市内 被害状況



## 小本川 被害状況





# 北海道・東北地方の豪雨による被害の特徴

- 国管理河川の上流部や支川のほか、整備水準が低い中山間地域の一級河川の支川や二級河川において越水や侵食等による堤防決壊や溢水などによる家屋流出や橋梁被災など甚大な被害が発生。
- ・防災情報の伝達が不十分であったことに加え、中山間地域における河川特有の急激な水位上昇に伴い、要配慮者利用施設などで逃げ遅れによる被害が発生。
- ・中山間地域の河川では、河川沿いの狭隘な低平地の大部分が浸水したことにより、沿川の要配慮者利用施設や工場、家屋等で被害が発生。
- ・中小河川では、土砂の流出による河床上昇や流木等の流出による橋梁での河道埋塞などが被害を拡大した可能性。
- ・橋梁被害や道路の洗掘等により、鉄道や国道の重要路線が分断され、物流にも影響を与えたほか、生活道路などローカル交通ネットワークの途絶が頻発し、集落の分断等が各地で発生。
- ・高い全国シェアを占める農作物の産地が甚大な被害に見舞われたことにより、全国の主要市場でも価格が高騰するなどの影響が発生。



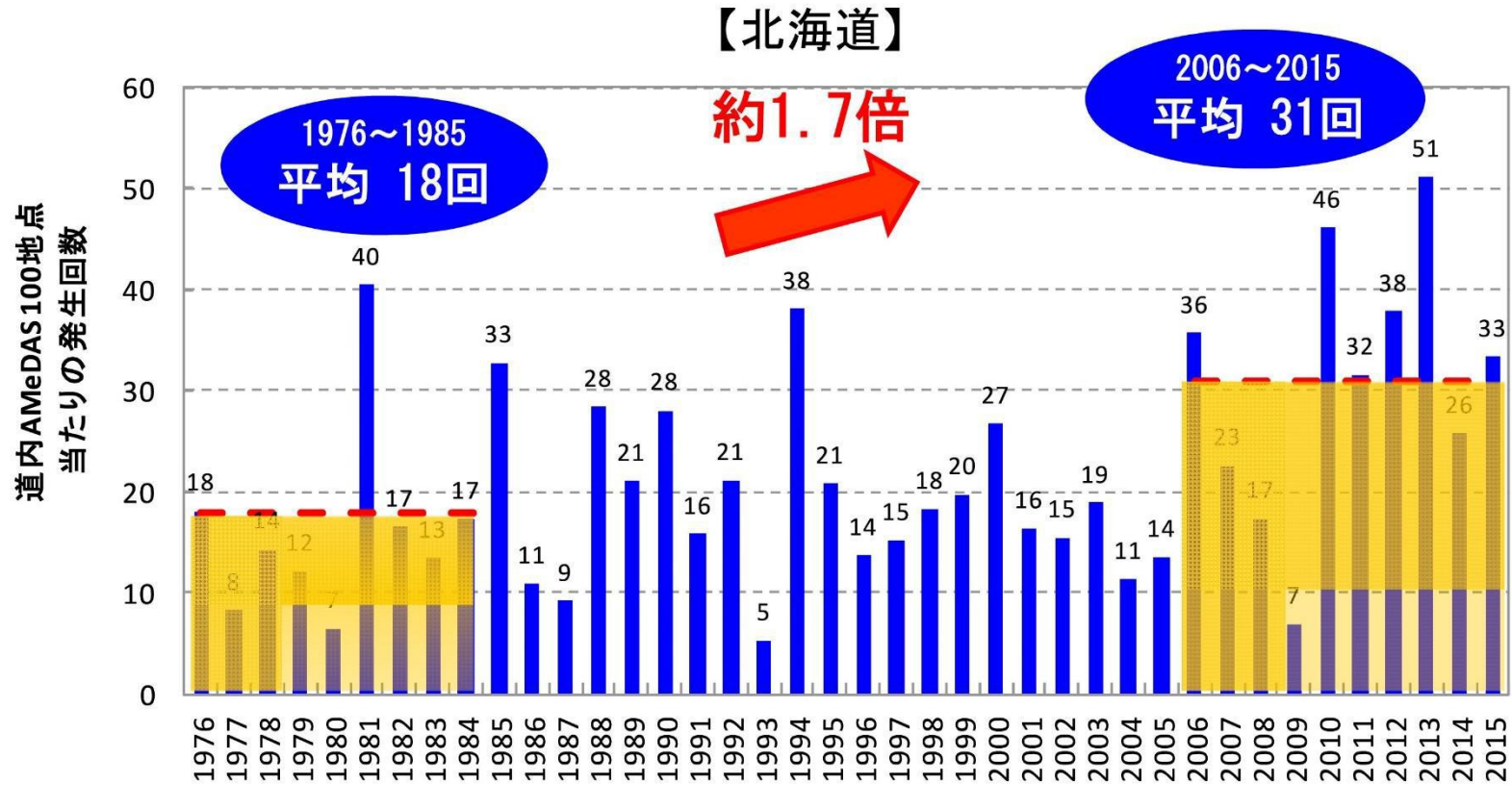
堤防の決壊による氾濫状況(石狩川水系空知川)



岩泉町乙茂地区の被災状況(岩手県小本川)

# 近年の降雨の状況(北海道)

■北海道でも時間雨量30mmを超える短時間雨量が約30年前の約1.7倍になるなど、降雨形態が変化している。



道内アメダス100地点当たりの時間当たり30mm以上の降雨発生回数

※一般財団法人 日本気象協会北海道支社 資料を一部改変

- ・ **現在の取り組み状況**





# 水位観測データの公開

国土交通省 川の防災情報

水位観測所付近の川の断面図

観測所:斜里川中央橋しゃりがわちゅうおうばし)

水位観測所付近の川の断面図

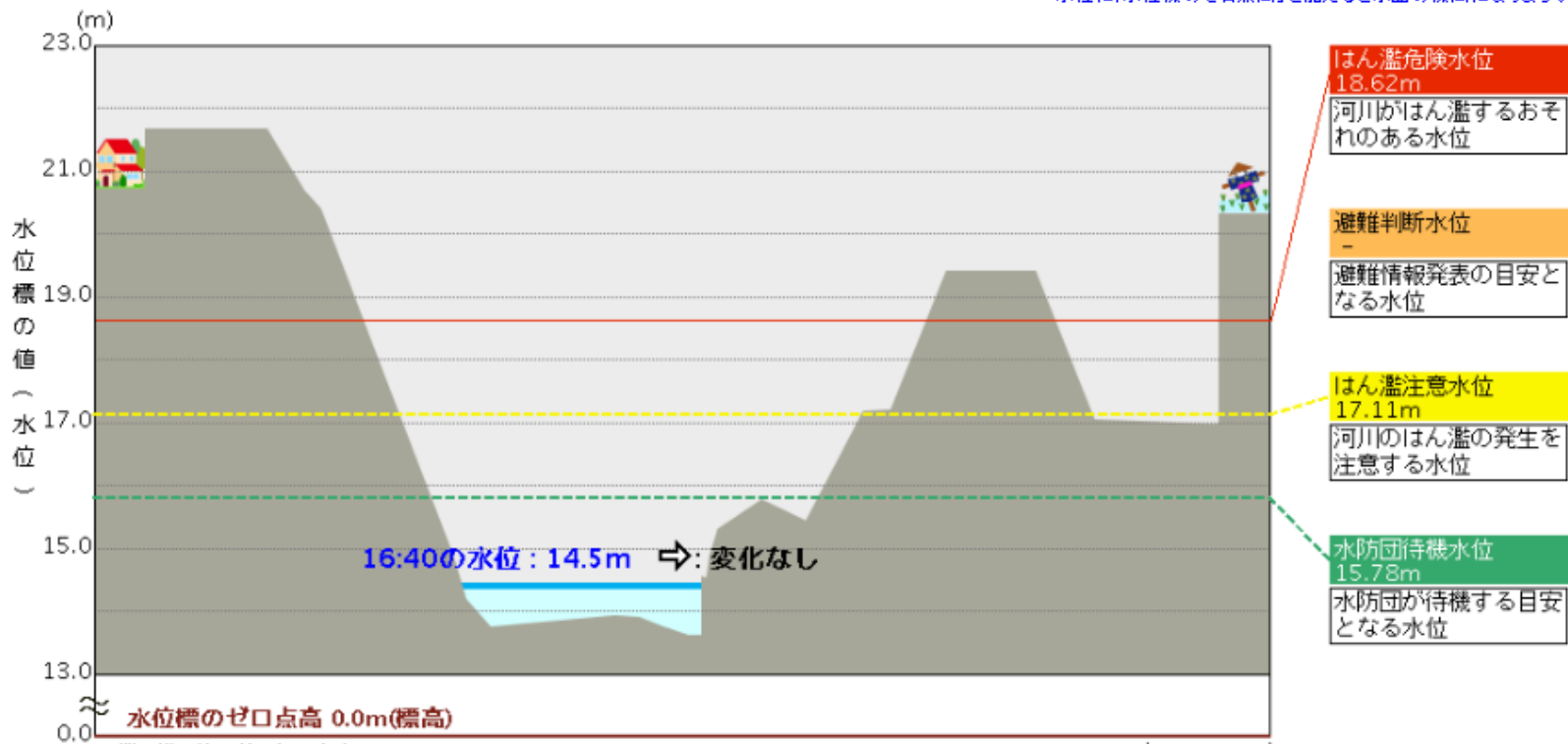
河川の水位の時間変化

水系名	河川名	管理者	位置	所在地
斜里川	斜里川	北海道道東 北海道オホーツク総合振興局 網走建設管理部	13.00km	北海道斜里郡清里町字向陽194番地2地先河川敷(中央橋地点)



▲ 水位観測所  
● 雨量局

水位に「水位標のゼロ点高」を加えると水面の標高になります。



※縦・横の縮尺が異なります。  
※水位標の値と水位標のゼロ点高は、小数点以下第二位を四捨五入して表記しています。

[河川の洪水予報と水位の関係について](#)

Compiled by FRICS

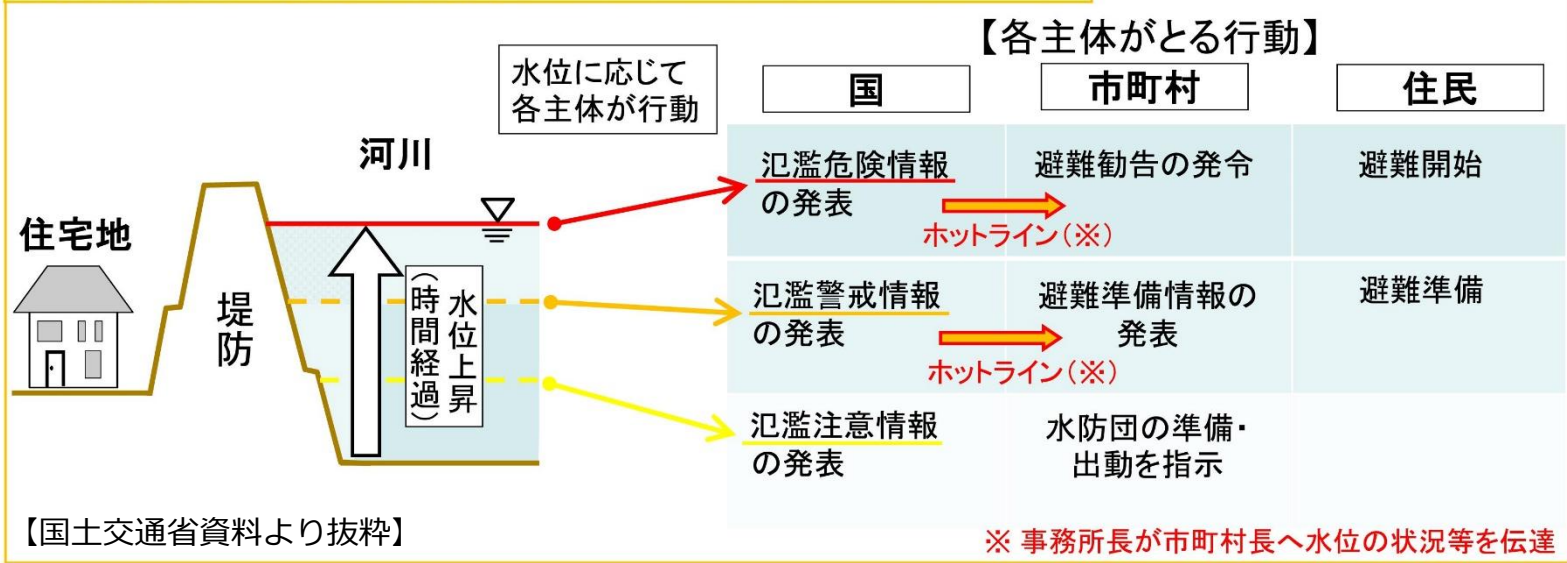
## 水位観測データの表示例



# 水位周知河川における水位情報提供

- 水位周知河川では、氾濫の恐れがある時に、関係市町村へ情報を提供します。
- オホーツク東部の水位周知河川
  - 斜里川

## 避難勧告等の発令に着目したタイムラインのイメージ



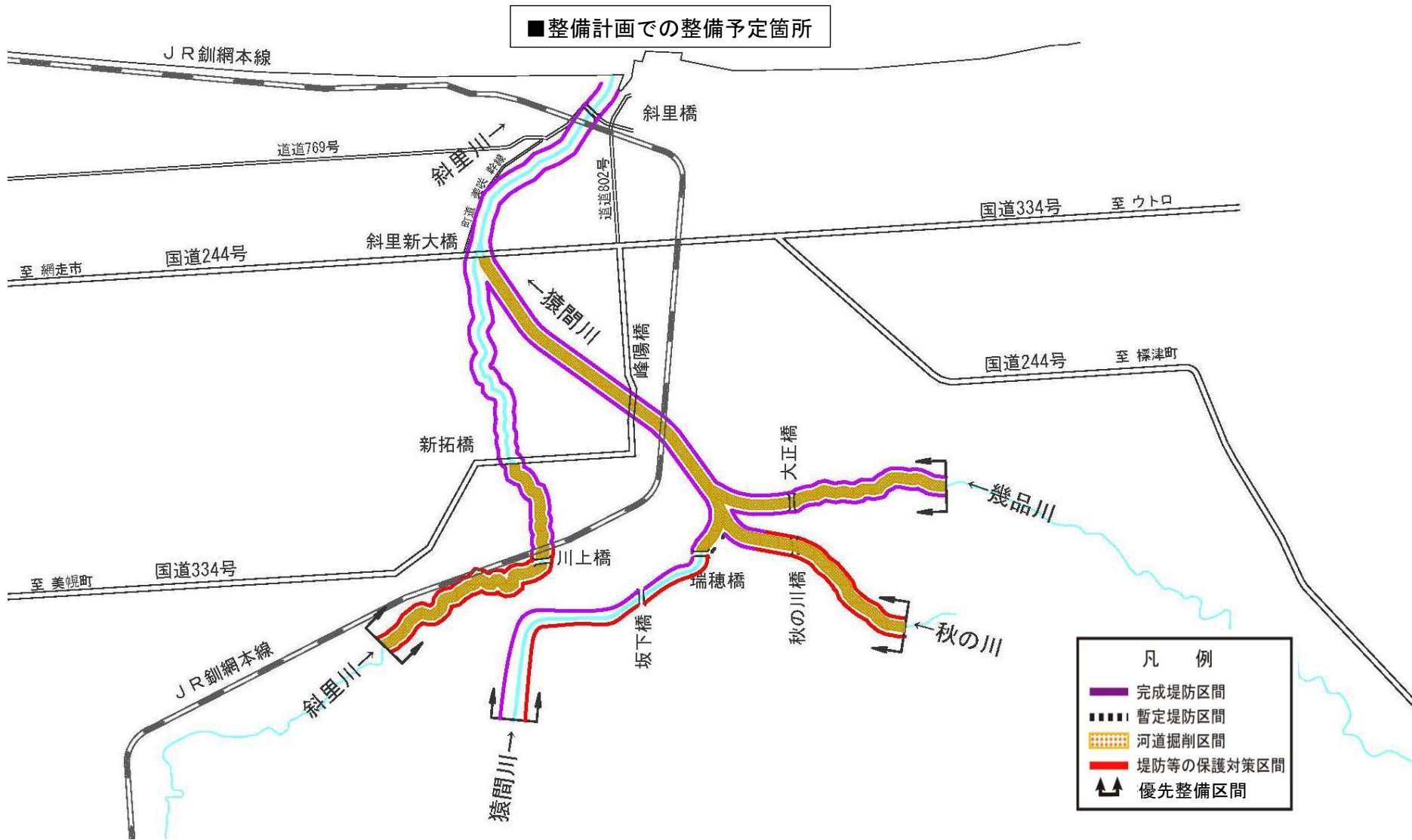


# 重要水防箇所の公開

水系名	区間 延長 (km)	流域の市町村
斜里川	3.60	斜里町



# 主な河川改修事業の実績について





## ●現状の維持管理

河道内の樹木の伐採や堆積土砂の除去といった河川の維持管理は、これまで、「公共土木施設の維持管理基本方針」において、流下能力を阻害し、出水時に洪水氾濫の原因となる恐れがある場合に伐採や除去することとしている**日常管理型の維持管理**を行ってきました。

## ●新たな維持管理

こうした中、昨年の台風被害を受けて洪水の軽減には河川の整備を行うとともに、その機能を確保するための、そして河川環境などの保全の観点からも、適切な維持管理が重要であり、**計画的に樹木伐採などの維持管理**を進める必要があります。

今後は、「公共土木施設の維持管理基本方針」を基本とし、「河道内樹木伐採などの河川維持管理のあり方」により、河道内の樹木伐採、堆積土砂の除去などを行うこととして、効率的・効果的な河川の維持管理に努めることとなりました。



# 洪水に備えた事前準備

- 河川維持管理計画に基づく河川巡視  
出水期前の定期点検のほか、異常時点検として、出水中及び出水後に河川巡視を実施
- 水防資材の備蓄など

## 斜里出張所

土のう袋（480mm×620mm） 2, 3 5 0 枚

大型土のう袋（1,100mm×1,100mm） 3 0 枚

## ・ 減災のための目標





# 減災のための目標（案）

## 平成28年8月の台風による教訓

河川沿いの低平地の  
大部分が浸水

交通や第一次産業への  
深刻な影響が発生

要配慮者利用施設で  
逃げ遅れ被害が発生



## 5年間で達成すべき目標

関係機関との連携を強化し、2級河川で発生しうる大規模水害に対して、「**迅速・確実な避難のための防災意識向上**」・「**社会経済被害の最小化**」を目指す。

## ・今後の進め方

# オホーツク東部減災対策協議会 開催スケジュール

- 今後の協議会は、以下のスケジュールを予定しています。
- 幹事会は、必要に応じて適宜開催します。

年 度	協議会	主な議題
平成 2 9 年度	第 1 回協議会 (H29.7.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 協議会の設置・運営内容について</li> <li>• 水防災意識社会とは</li> <li>• オホーツク東部の河川の概要</li> <li>• 主な課題</li> <li>• 現在の取り組み状況</li> <li>• 減災のための目標</li> <li>• 今後の予定</li> </ul>
	第 2 回協議会 (H30.3目途)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 目標と取り組み方針の共有</li> <li>• フォローアップ方法の確認</li> </ul>
平成 3 0 年度	第 3 回協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取組状況の報告</li> <li>• 今後の取り組みのフォローアップ</li> </ul>

以後、毎年度協議会を開催